

味野中学校区人権学習推進委員会

1 はじめに

味野中学校区人権学習推進委員会は平成8年度に発足し、現在18年目です。味野中学校区は味野、赤崎、本荘地区からなり人口は17,573人、世帯数は7,510世帯（H25.12月末現在）です。それぞれ地区は瀬戸内海に面し、ほぼ中央に特徴ある形で児島のランドマークになっている「竜王山」を取り囲むように開けています。推進委員は38名で構成しています。

2 味野中学校区のテーマ、重点課題

テーマ：自分を大切に 人を大切に 明るい地域づくりを目指して

重点課題：地域の人びとの交流による人権学習の推進

3 事業の推進

味野中学校区人権学習推進委員会では各団体と連携しての啓発活動や、各種のふれあい交流活動に取り組んでいて、その一部を紹介します。

(1) 講演会

本荘公民館主催の人権教育講演会では、地域の推進委員、愛育委員会の協力をいただき、年2回開催しています。また講演会終了後には、栄養改善協議会とタイアップして「食育」を兼ねた試食会を行い、交流の輪を広げています。



試食品（ホットケーキと甘酒）

(2) ふれあい・交流活動



① 中学校区でまとまって行う数少ない事業の一つに、地区の青少年を育てる会を核に開催される「竜王山健康ハイキング」があります。各種の団体が連携して実施し、会場は中学校区内の小・中学校が順番に当番校になり、4年に1回オリンピックのように当番が回ってきます。コースは各学校が選定。多くの老若男女の方々が参加され、お互い声を掛け合いながら安全で楽しい「健康ハイキング」となっています

② 本荘公民館で春に「ふれあい山野草展」、秋には「ふれあい紅葉展」を毎年開催しています。会場では精魂込めて育てた自慢の作品が並び、多くの来館者と出展者との育て方や作品を作る苦労話、また久しぶりに会ったの近況話に花が咲くなど和やかな雰囲気の中で交流の輪が広がっています。



③ 12月第2日曜日に、本荘地区の自治会を中心に各種団体が協力し、ふれあい餅つき大会が公民館で開かれます。地元住民や消防署員たちといっしょに汗をかきながらお餅をつき、世代を超えた楽しい交流の場となっています。つきあがった餅は参加者全員にふるまわれ、また民生委員・消防署・子供会等により一人暮らしの高齢者のお宅に、**防火慰問**を兼ねておはぎ等と一緒に届けられます。